

とやま安心介護ネットワーク 設立主旨

新型コロナウイルスの世界的な感染が拡大するなか、2020年富山の介護業界は、大きく変わろうとしています。

富山県内では、介護施設において感染が拡大したことから、ご利用者とその家族だけでなく、従事者とその家族まで、様々な誹謗中傷を受けました。超高齢社会が進む日本で、私たち福祉・介護現場従事者には、大きな役割と責任があります。安心した社会生活のために、これまでも社会福祉の精神を大切に、地域との共生を探求し、人間に必要な時間と空間を育んできました。しかし、社会の在り方と求め方が大きく変わることで、これからのために、私たちはいま、想像力と創造力が問われています。

だからこそ、また来るリスクに、今回の教訓をどう活かせるかを語り合い、私たちにできること、私たちがやるべきことに真剣に向き合ってきました。そこで、たどり着いたのが、現場視点による横に広がるネットワーク「とやま安心介護ネットワーク」を設立することでした。

行政・医療との連携、現場支援の研修、地域へ情報発信など目指すのは、介護現場の持続的な仕組みづくりです。

大切なご利用者とご家族のために！
大事な私たちの仲間のために！
私たち自身のために！
私は、はじめます！！

“ というわけで作っちゃいました ”
コロナ第2波に備えて!!

相談できる場

愛称

「TAKN たっくん！」

